

# ケアプランデータ連携システムの導入について



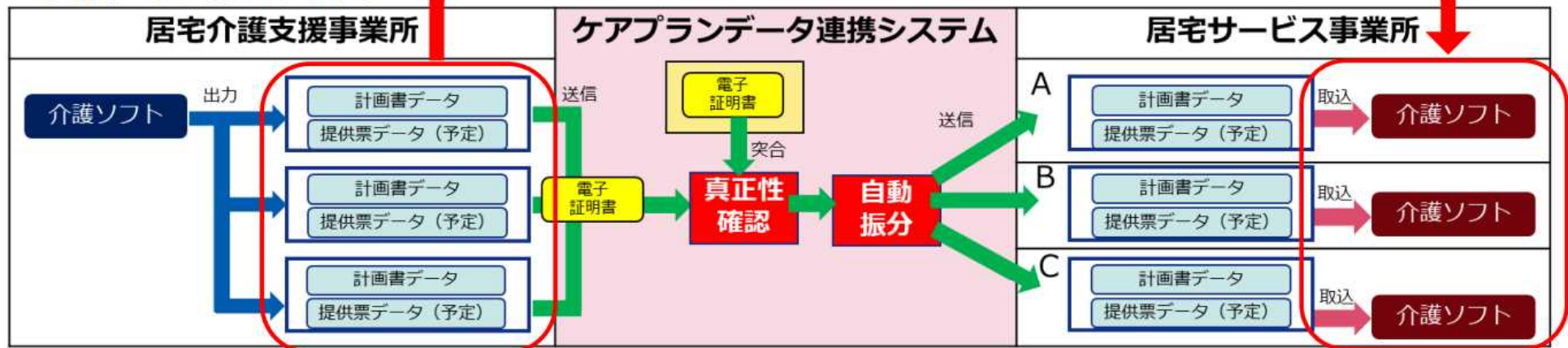
兵庫県福祉部高齢政策課 企画調整班

# ケアプランデータ連携システムについて

令和5年12月6日開催「地方公共団体によるケアプランデータ連携システム活用セミナー」厚生労働省資料

これまで主に毎月FAXでやり取りされ、介護事業所の負担が大きかったケアプラン（提供票）を、クラウド上で安全に電子データのやり取りをするシステムです。**本年4月20日、国民健康保険中央会にて本格稼働！**

## 【計画・予定情報の流れ】



※実績情報は逆の流れ（居宅サービス事業所→居宅介護支援事業所）となり、予定情報と同様、真正性確認の上、振分けられる。

## ケアプランデータ連携システムで期待される効果

- 手間、時間の削減による **事務費等の削減**
- データ自動反映による従業者の「**手間**」の削減・効率化
- 作業にかかる「**時間**」の削減
- 従業者の「**心理的負担軽減**」の実現
- 従業者の「**ライフワークバランス**」の改善
- 事業所の「**ガバナンス**」、「**マネジメント**」の向上



イメージキャラクター  
ケアプー



ヘルプデスクサポートサイト

人件費	¥95,218
※ケアマネジャーの平均給与から、作業に要する時間（52.4時間）を算出して算出	
印刷費	¥792
※用紙（700枚/月）、インク等	
通信費	¥1,826
※FAX送信費、インターネット接続費	
郵送料	¥2,220
※切手代	
交通費	¥2,140
※公共交通機関利用料、ガソリン代	
介護ソフト利用費	¥31,417
※介護ソフトのライセンス料	

毎月6.2万円分の業務を他の業務に転嫁可能！  
(74.4万円/年 相当)

- 新たな業務創出
  - 利用者宅訪問
  - アセスメント 等
- 【直接的な支出】  
利用前 ¥38,395  
利用後 ¥34,211  
削減効果 ¥4,184/月  
(¥50,208/年)

人件費	¥32,784 (¥-62,434)
※ケアマネジャーの平均給与から、作業に要する時間（18.1時間/月）を算出して算出	
通信費	¥1,044 (¥-782)
※インターネット接続費	
ケアプランデータ連携システム	ライセンス料 ¥1,750
※年額ライセンス料（¥21,000）を振分	
介護ソフト利用費	¥31,417
※介護ソフトのライセンス料	

※この他、事務保管場所確保に要する費用等の削減も期待できる。



# ケアプランデータ連携システムとは

居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所とのケアプランのやりとりを、  
オンラインで完結できる仕組みです。



介護分野の生産性向上を図り、いきいきと働ける職場を実現するためには、  
ICTを介護現場のインフラとして活用することが重要です。

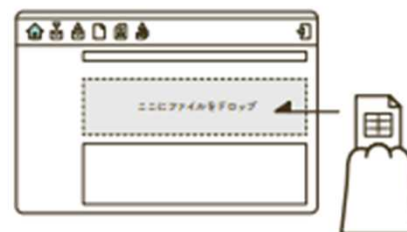
厚生労働省では、事業所間でやりとりされる情報について、  
データ連携の約束事を「ケアプラン標準仕様」として定めています。

その約束事に従って、異なる介護ソフト同士でも安心してつながれる基盤として、  
国民健康保険中央会は「ケアプランデータ連携システム」を提供します。

## 3つのメリット

### ① かんたん

計画書（1表、2表）や提供票データ（6表、7表）といった CSVファイルなどを、ドラッグ&ドロップするだけで準備完了。郵送やFAXなどの送付の手間から解放。



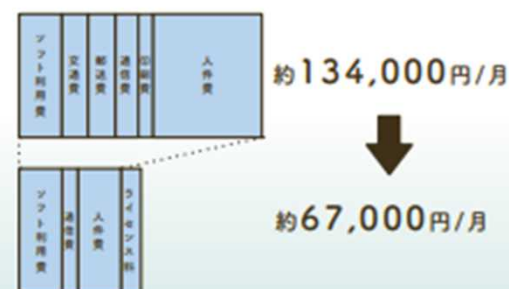
### ② あんしん

記載ミスや書類不備が減り、手戻りが減少。介護報酬請求で使用されているセキュリティ方式を採用し、安全性は万全。導入から運用まで、安心のサポート体制を提供。



### ③ さくげん

やりとりにかかる業務時間を約1/3に抑えられる研究結果があります。費用については、ライセンス料21,000円の投資で年間約80万円の削減が見込めます。



（出典：令和2年度老人保健健康促進事業「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる活用に関する調査研究」）

## 推奨の言葉

「今の時代に、なくてはならないもの」だと思います。  
ケアマネジャーの仕事である「モニタリング」は  
人が行わなければならないものですが、もう一方の  
「給付管理」は効率化が可能な事務作業です。  
「給付管理」の時間を短くして、「モニタリング」に  
あてれば、ケアマネジメントが非常に豊かになって  
いくと思います。



国際医療福祉大学大学院  
医療福祉経営専攻  
石山 麗子教授



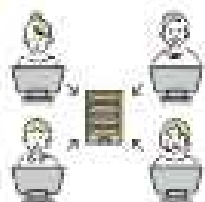
居宅介護支援事業所  
株式会社トライドマネジメント  
長谷川 徹代表

導入したきっかけは、スタッフの負担を減らし、  
利用者さんとの時間を取ってほしかったためです。  
システムの操作は、ドラッグ & ドロップと、ワン  
クリックだけで利用できます。  
介護業界の時代が変わる瞬間で、間違いなく  
大きな手段の一つだと思います。

## 利用開始までの流れ

STEP  
0

### 利用申請前の確認



データ連携する事業所と  
システム導入時期を  
確認します



ご利用の介護ソフトが  
ケアプラン標準仕様  
に対応しているか確認します



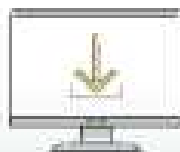
インターネット接続できる  
Windows10以上の  
端末を準備します



居宅介護支援事業所と  
居宅サービス事業所が  
対象です

STEP  
1

電子証明書の  
インストール



電子証明書の有無・種類を確認  
必要に応じて発行申請し  
端末にインストールします

STEP  
2

ケアプランデータ  
連携システムの利用申請



KJではじまる14桁のIDと  
有効なパスワードで  
システムの利用申請を行います

STEP  
3

ケアプランデータ  
連携システムのインストール



ケアプランデータ連携システムを  
ご利用する端末にシステムを  
インストールします

STEP  
4

ケアプランデータ  
連携システムの利用開始



連携事業所の準備が完了後  
ケアプランデータの  
送受信を開始します

## 公式サイト

詳しいご説明を掲載したサイトをご用意。  
使用開始までの手順などを動画つきで解説しています。



ケアプラン ヘルプデスク

検索



<https://www.careplan-renkei-support.jp/index.html>

### 電話でのお問い合わせ

# TEL 0120-584-708

受付時間 9:00～17:00（土日祝日は除く）  
年末年始（12月29日～1月3日）は、お休みさせていただきます。

公式キャラクター  
「ケアプー」

